

東臼杵北部農業改良普及センター
(東臼杵農林振興局)

加工原料の生産安定で 地域を代表する商品づくりを

～ 農商工連携による焼酎づくりへの取組 ～

1 活動のねらい

延岡管内では、平成19年よりJA及び地元焼酎メーカー・生産者が連携し、農商工連携による地元産原料を使用した焼酎づくりが始まりました。

平成22年には、JA延岡の生産組織として加工原料部会「きらり」(12名)が結成され、現在、原料作物としては、かんしょ・麦・酒米・桃・栗が生産されています。

これまでに8種類の焼酎・リキュールが商品化され、地元を始め県内外で消費されています。また、平成26年からは地元清酒メーカーとタイアップした清酒づくりにも取り組んでいます。普及センターでは、関係機関とともに、取組開始当初から原料作物における品種導入、高品質化に向けた栽培技術支援を行ってきました。



新酒試飲会の様子

2 活動の経過又は普及の関わり

(1) 原料作物の品種導入支援

かんしょでは、平成19年の取組開始当初は「コガネセンガン」が作付けされていましたが、病害虫の被害を受けやすいことから、耐病虫性に優れ、焼酎に加工するとフルーティーな香味を呈する「ダイチノユメ」の導入を支援しました。

麦では、収穫時期の分散を図るため、従来の「ニシノホシ」に加え、収穫時期の早い「はるか二条」を現地実証試験の活用により推進しました。酒米では、焼酎用の麴米として本県育成の「はなかぐら」に加え「ちほのまい」、清酒用として酒造好適米「山田錦」の導入を推進しました。

また、各原料作物において、品種を導入する際には、酒造メーカーと協力して、加工適性などの評価も行いました。



「ダイチノユメ」収穫風景

(2) 高品質化に向けた栽培技術支援

麦では、排水及び赤かび病対策等について支援を行いました。赤かび病に対し、これまでの動力噴霧器による防除に代え、地元の水田ヘリ防除協議会と連携して、無人ヘリ防除に取り組み、農薬の選定や適期防除などの技術支援を行いました。



無人ヘリ防除の様子

3 活動の成果

(1) 原料作物の品種導入による面積拡大

かんしょでは、「ダイチノユメ」の導入を推進し、平成26年には全38aのほ場で作付けされ、土壌センチュウによる品質低下の軽減につながっています。

麦では、「はるか二条」の試験栽培を行っており、平成26年には45aで現地栽培適応性・収量・品質等を調査しています。試験の結果、作期分散による労力軽減、収量性が高いことなどが実証出来ました。今後、作付け面積の拡大が進むものと期待されています。

酒米では、焼酎用麴米として収量性・醸造適性の高い「ちほのまい」の導入を推進し、平成26年には170aまで面積が拡大しています。一方、清酒用としては「山田錦」の栽培試験を20aで行っており、平成27年には生産された原料を用いて、地域オリジナルの清酒が商品化されました。

(2) 栽培技術向上による高品質化

麦については、赤かび病対策としてヘリ防除を推進したことで（平成26年は延べ38ha）、防除作業の労力軽減及び適期防除が図られるようになりました。

併せて、適期播種、排水対策等の指導を行ったことにより収量・等級比率は年々向上しています。現在、栽培面積・品質ともに、県内随一の産地になっています。

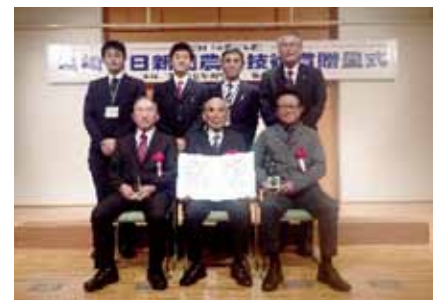


図1 焼酎原料用麦における10a当たり収量と一等比率の推移

表1 加工原料作物の年次別作付面積等の推移

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
かんしょ (a)	88	60	60	100	38
二条大麦 (a)	2,067	2,500	1,220	1,476	1,927
酒米 (a)	97	86	142	254	250
桃・栗 (kg)	2,000	1,000	500	600	600

加工原料部会「きらり」は、これらの取組が評価されて、平成27年度に「第58回宮崎日日新聞農業技術賞」を受賞しました。今後もさらなる活躍が期待されます。



宮日農業技術賞受賞式

4 今後の方向

(1) 後継者の確保

部会員の高齢化が進んでいるため、関係機関と一体となって、後継者の確保に努めていきます。

(2) 品質向上と麦面積の拡大

加工原料のさらなる品質向上に向け引き続き技術支援を行います。また、麦については、焼酎原料はもとより味噌などの加工原料としても需要が高いため、面積拡大・収量の増加に向けた支援を行います。

5 対象集団又は農家の声

品種導入及び品質向上に際しては、現地適応性が分からず作付けに不安はあったものの、細やかな技術指導を受け収量・品質が年々向上しています。当地域は普通期水稻が主体ですが、加工原料の生産・振興については、今後も継続して取り組んでいきたいと思ひます。